

繊維材料を用いた吸音材の開発

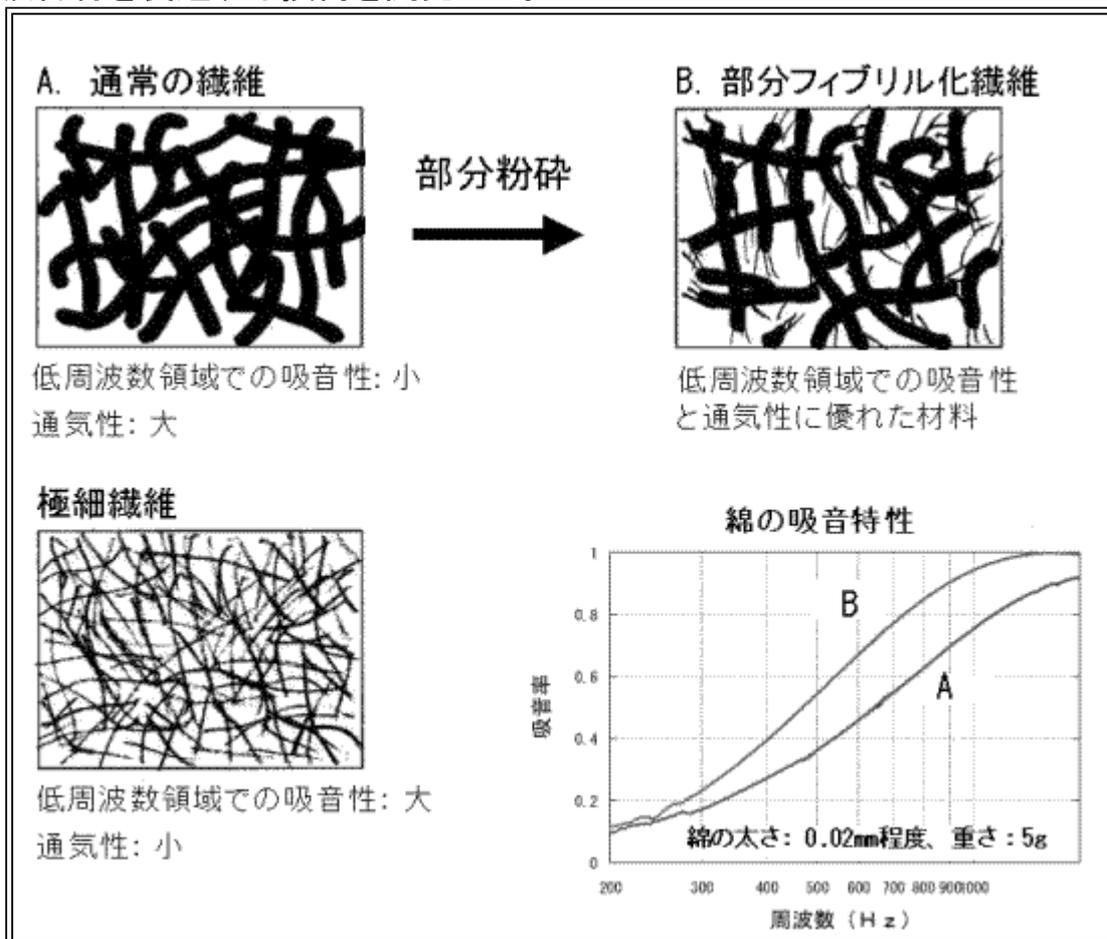
工業技術センターは平成13年度の単県経常研究(研究テーマ「繊維製品のリサイクル技術」)において、粉碎した繊維材料を用いて吸音性と通気性に優れた吸音材を開発した(平成15年1月30日出願)。

1. 背景

繊維吸音材の繊維を細くすると低周波領域の吸音性は向上するが、構造が緻密になるため通気性が低下するという問題があった。そこで、繊維の部分粉碎技術を利用した新たな吸音材の開発を試みた。

2. 内容

繊維を部分的にフィブリル化(極細繊維化)することで、低周波数領域での吸音性と通気性に優れた吸音材を製造する技術を開発した。



3. 効果

繊維をフィブリル化した吸音材を用いることで、次の効果が期待できる。

- 1)内装材の吸音性能の向上(コンパクト化)
- 2)装置の軽量化・清音化

学会、講習会などをおとして地域企業に広め、実用化に向けて検討を進める。